

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅲ	PSP34-002	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也 他	D311	kasuyama		月曜 9:00-10:30	
授業の目的・概要	本演習では、様々な疾患に対する理学療法における臨床思考過程を理解するために、模擬症例を用いて疾患の病態、評価、治療までの流れについてグループ学習を通じて学ぶことを目的とする。また、学習を通じて学んだ内容を教員及び他学年の学生に伝え、討議できる論理的思考力を学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	特になし				
参考書					
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	対象疾患に関する情報を収集し、評価内容を選択することができる。			RH(2)、(4)、(5)	
②	対象疾患の評価に関して、目的や意義を説明することができる。			RH(2)、(4)、(5)	
③	各疾患に関する思考過程について整理し、適切な実技を行うことができる。			RH(2)、(4)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	担当	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	オリエンテーション：学習の進め方（臨床実習における思考過程、ポートフォリオ作成の仕方）を学習する。	粕山	講義	予習：疾患の情報収集 復習：情報収集のまとめ	1
2	症例基盤型学習の方法について理解する。 実習における問題志向型システム（POS）を理解する	粕山	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
3	中枢神経系疾患における評価・治療を学ぶ①	高村	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
4	中枢神経系疾患における評価・治療を学ぶ②	三科	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
5	中枢神経系疾患における評価・治療を学ぶ③	福田	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
6	運動器系疾患における評価・治療を学ぶ①	関口	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
7	運動器系疾患における評価・治療を学ぶ②	源	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
8	運動器系疾患における評価・治療を学ぶ③	坂本	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
9	運動器系疾患における評価・治療を学ぶ④	石井	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
10	内部障害系疾患における評価・治療を学ぶ	関根	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
11	中枢神経系疾患における評価・治療の統合	粕山	演習 PBL	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
12	運動器系疾患における評価・治療の統合	粕山	講義	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
13	内部障害系疾患における評価・治療の統合	粕山	講義	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
14	義肢装具学における評価・治療の統合	粕山	講義	予習：配布資料の予習 復習：配布資料の復習	1
15	総括	粕山	講義	予習：演習内容全体の整理 復習：演習全体の反省	1
試	レポート課題				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	40	0	0	0	0	40
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	中枢系、運動器系、内部障害系および義肢装具学に関する国家試験形式の筆記試験を行う。				問題の返却、解説を行う
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高村 浩司、三科 貴博、関口 賢人、坂本 祐太、関根 聡美、源 裕介、石井 智也、福田 京佑						
教員の実務経験	理学療法士（臨床経験 17 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 11 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 17 年、資格取得後 7 年）						
実践的授業の内容	臨床現場に多い疾患に対して具体的な評価・治療方法について解説するとともに、提示した症例に対する実践的な学習課題を提供する。						
そ の 他	授業態度：授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。 感染対策：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。						